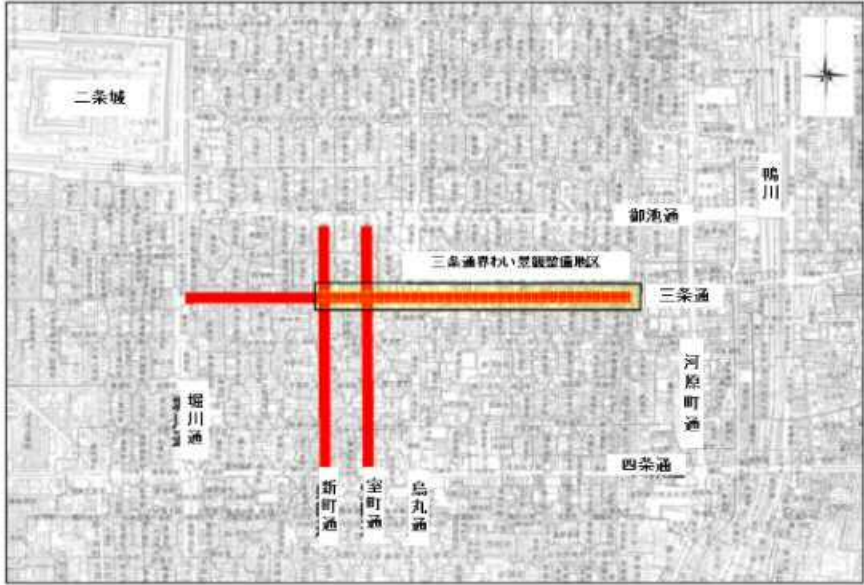



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
道路修景整備事業 三条周辺地区		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	三条通及び新町通、室町通の道路修景整備及び一部無電柱化。【頁7-7】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度は、三条通において予備設計に着手。継続して事業着手に向けた関係機関との協議を実施。			
【歴史的風致・基本方針との関係】 「伝統と進取の気風の地」の歴史的風致の環境を形成している三条通、「ハレとケのまち京都」の歴史的風致の環境を形成している新町通、室町通の無電柱化や修景整備を着実に実施することにより、町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		【課題】 無電柱化事業の実施にあたっては、巨額の整備費用(幹線系1km当たり7億円に対し景観系9億円)が必要であり、地上機器(関連設備)設置場所の確保等も課題である。 【対応方針】 平成30年度に「今後の無電柱化の進め方」実施計画を策定し、その中で無電柱化を進めていく路線に位置づけた。三条通は、道路の幅員が狭く、歩道がないため、地上機器の設置にあたっては、景観に配慮しつつ、安全な通行に配慮した場所を確保する必要がある。令和元年度から無電柱化の整備に向けた予備設計に着手しているが、地上機器の位置については沿道の土地利用を考慮すると容易に設置場所を特定できず、沿道関係者や電線管理者との交渉が難航している状況にある。今後は、引き続き調整を行っていくとともに、低コスト手法等の活用について検討を行っていく。	
			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">三条周辺地区整備箇所図</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">新町通</div>	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
道路修景整備事業 清水周辺地区	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 東山地区において無電柱化及び道路修景整備。【頁7-8】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は、茶わん坂において予備設計に着手。
 継続して事業着手に向けた関係機関との協議を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】

清水寺周辺において、歴史的風致環境を形成している道路の無電柱化を進め、町並みと道路空間が一体となった整備を行うことで、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりを推進する。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

【課題】

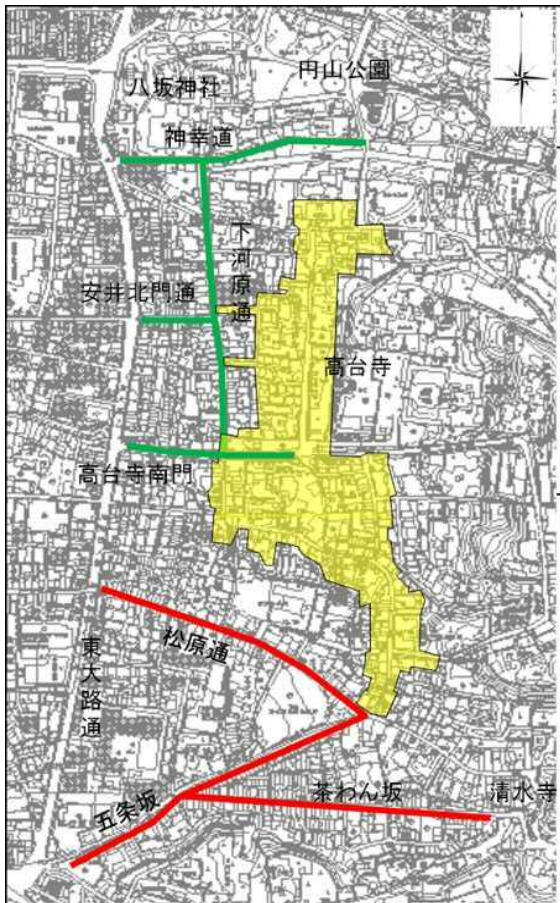
無電柱化事業の実施にあたっては、巨額の整備費用(幹線系1km当たり7億円に対し景観系9億円)が必要であり、地上機器(関連設備)設置場所の確保等も課題である。

【対応方針】

平成30年度に「今後の無電柱化の進め方」実施計画を策定し、その中で無電柱化を進めていく路線に位置づけた。茶わん坂においては、令和元年度から無電柱化の整備に向けた予備設計に着手しており、地元や電線管理者と地上機器の設置箇所に関する調整を進めている。引き続き調整を行っていくとともに、低コスト手法等の活用について検討を行っていく。

状況を示す写真や資料等

清水周辺地区整備箇所図



五条坂(整備前)



茶わん坂(整備前)

- 凡 例
- 無電柱化及び道路美装化箇所
 - 石畳風舗装、景観型照明の整備箇所
 - 三寧坂伝統的建造物群保存地区範囲
 - ■ ■ 無電柱化整備完了箇所(H23年度以前の整備箇所も含む)

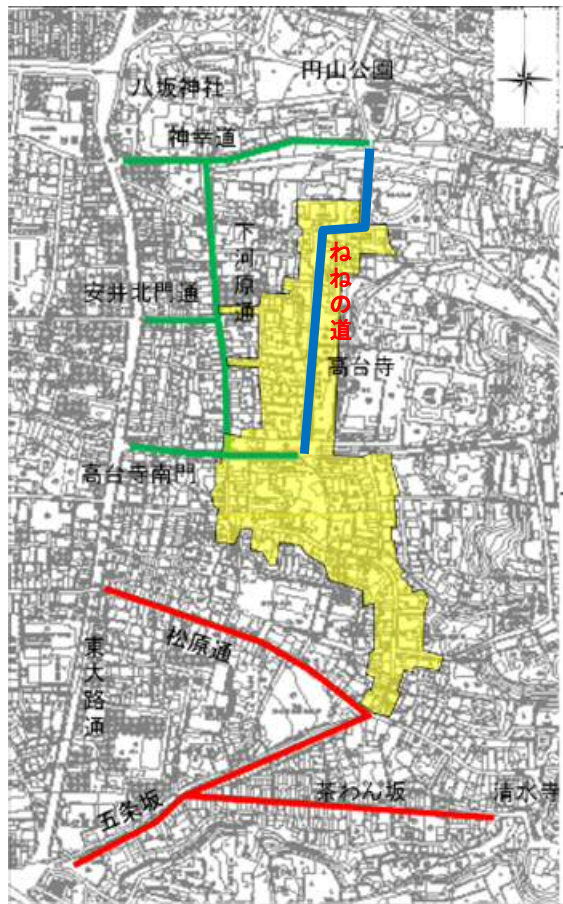
評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
道路修景整備事業 清水・祇園地区			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	・神幸道等における石畳風舗装, 景観型照明の整備, ねねの道における石畳舗装の補修 ・事業区域内における観光案内標識の設置 【頁7-8】		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・下河原通における石畳風舗装, 景観型照明の整備に着手。 ・ねねの道における石畳舗装の補修に着手。 ・また, 事業区域内において観光案内標識の設置を実施。 ・上記により, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりを推進。			
【歴史的風致・基本方針との関係】			
清水寺周辺において, 歴史的風致環境を形成している道路の石畳舗装の補修及び石畳風舗装等の整備や観光案内標識を設置することにより, 町並みと道路空間が一体となった整備を行うことで, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりを推進する。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	清水・祇園地区については, 現在, 計画どおり進捗している。 令和2年度以降, 引き続き, 高台寺南門通等の整備を推進していく。		

状況を示す写真や資料等

清水・祇園地区整備箇所図



下河原通(整備前)



下河原通(整備後)

清水・祇園地区

清水周辺地区

凡例

- 無電柱化及び道路美装化箇所
- 石畳風舗装, 景観型照明の整備箇所
- 石畳舗装の補修
- 産寧坂伝統的建造物群保存地区範囲

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
無電柱化等事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 銀閣寺:平成21年度～, 嵯峨天龍寺:平成27年度～, 先斗町:平成27年度～

支援事業名 防災・安全交付金(道路事業)

計画に記載している内容 幹線道路や景観にとりわけ配慮すべき地区について, 電線共同溝の整備や架空線整理, 無電柱化事業を推進。【頁7-9】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度は, 銀閣寺, 嵯峨天龍寺の沿道及び先斗町通において, 引き続き電線類を地中化する電線共同溝工事を実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致の環境を形成している道路の無電柱化の着実な進捗により, 町並みと道路空間が一体となった歴史的空間の環境整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

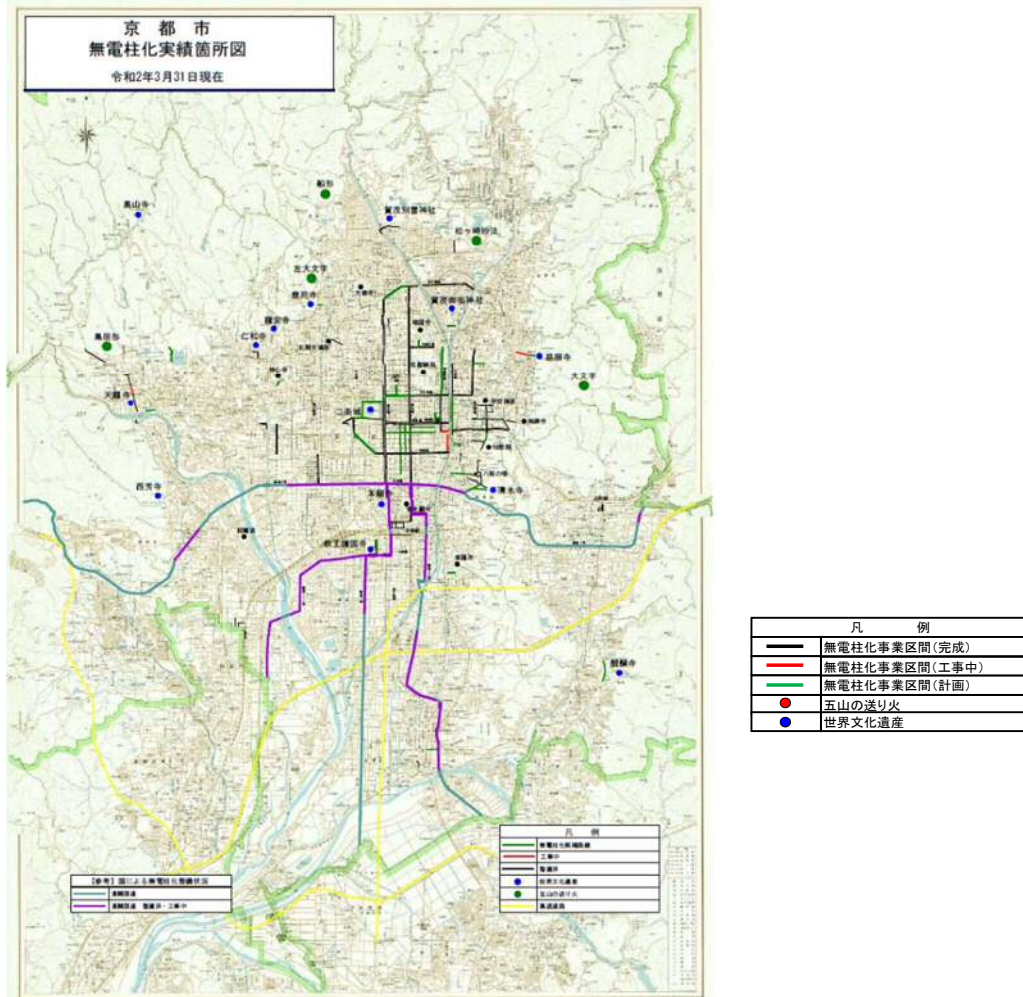
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

京都市域無電柱化事業実績箇所図



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
横断防止柵等への間伐材活用事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 間伐材を利用した道路付属物等の設置。【頁7～10】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(京都御苑周辺道路)烏丸通において、間伐材を使用した転落防止柵(L=137m)を設置。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致を形成する重要な要素である道路付属物を間伐材を用いて町並みに調和した形で整備することで、歴史資産と周辺の町並みを一体的に守り、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進されるとともに、自然と共生し、「木の文化」を大切にするまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

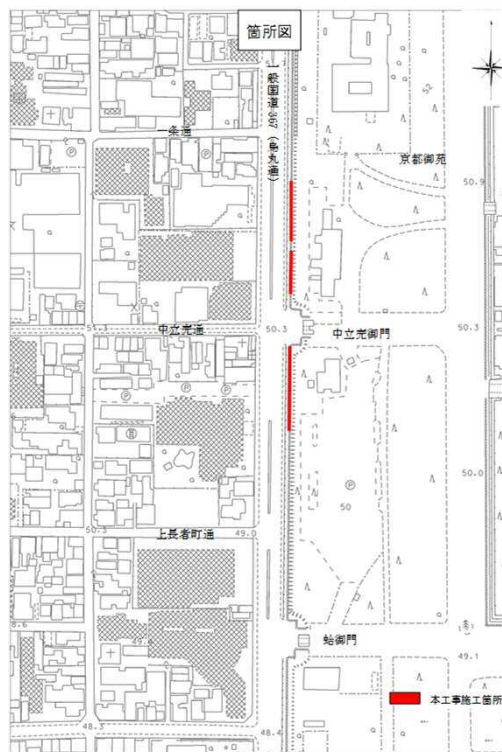
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

間伐材を利用した道路付属物



間伐材を使用した
転落防止柵の設置状況



■ R1整備箇所

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
観光案内標識設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和30年代～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 観光案内図板, 案内標識の整備。【頁7-11】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

混雑緩和策として観光客が集中するエリアにおける回遊性や多様なエリアへの誘客の推進に向けて, 案内標識を充実した。

【歴史的風致・基本方針との関係】観光案内標識を適切に整備することにより, 人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<更新>(東山区林下町)



<新設>(東山区川端町)



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
「歩いて楽しいまちなか戦略」の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成18年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的都心地区を中心とした「まちなか」で四条通の歩道拡幅と公共交通優先化等を推進。【頁7～14】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・四条通歩道拡幅工事完成(平成27年10月末)
- ・平成30年度は地上機器の移設及び美装化を完了(これをもって四条通歩道拡幅事業完了)。

<効果>

○四条通の歩行者交通量

歩行者交通量(平成30年11月～令和元年10月)は整備前と比べて21.4%増加した

○車両交通量

四条通は約4割減, 周辺の幹線道路も1～2割減少

○アンケート調査では, 約8割の人が整備前と比べて「歩きやすくなった」と回答

【歴史的風致・基本方針との関係】これらの取組により, 歩いてこそわかるヒューマンスケールのまちの実現に寄与し, 人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

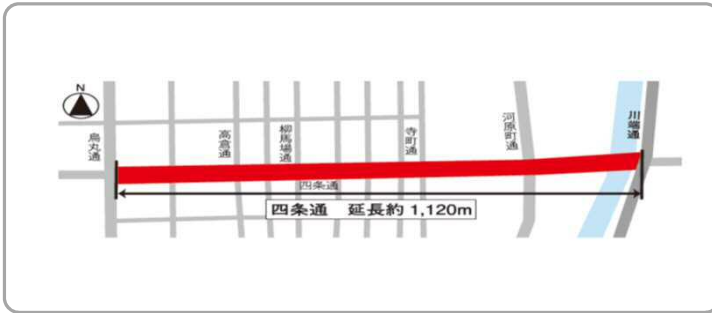
- ・整備後の四条通におけるエリアマネジメントの推進
- ・四条通とその周辺細街路における通過交通の流入抑制の推進
- ・歩道拡幅に伴う効果検証

状況を示す写真や資料等

●四条通の歩道拡幅の概要

市内最大の繁華街である四条通(烏丸通～川端通間)で公共交通優先と歩行空間の創出を図るため4車線を2車線化し歩道を拡幅

平成24年 1月 都市計画決定
平成26年 11月 整備工事着手
平成27年 10月 整備工事完了



●整備前写真



●整備後写真



●主な整備項目



●四条通整備後の効果検証・影響検証

■車道の状況(平成18年比)

- ・四条通(堀川通～川端通)の交通量…約4割減少
 - ・四条通周辺の幹線道路の交通量…約1～2割減少
- ※平成27年11月に実施した交通量調査による。

●学会賞等の受賞

多角的な視点からの評価を受け, 3つの表彰を受賞

- ・国際交通安全学会賞(業績部門)
- ・日本都市計画学会賞(石川奨励賞)
- ・土木学会賞(技術賞)
- ・全国街路コンクール(会長賞)



【四条河原町交差点に設置した記念碑】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
観光地交通対策		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成13年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 観光地である嵐山・東山において関係機関と連携した交通対策を実施。【頁7～15】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

秋の観光シーズンに、交通の円滑化と安全快適な歩行空間を創出するため、京都府警察等の関係機関と連携の下、臨時交通規制等の交通対策をパークアンドライドと併せて実施。

【歴史的風致・基本方針との関係】嵐山・東山は寺社が多く、<祈りと信仰のまち京都>の歴史的風致を形成している地域である。これらの取組により、歴史的風致を活かした歩いてこそわかるヒューマンスケールのまちの実現に寄与し、人が主役の歩いて楽しいまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、秋の観光ピーク期に、嵐山・東山の2地区において、地元住民・商業者及び京都府警等の関係機関と連携し、臨時交通規制や市営駐車場の自家用車駐車不可等の交通対策を実施する。

状況を示す写真や資料等

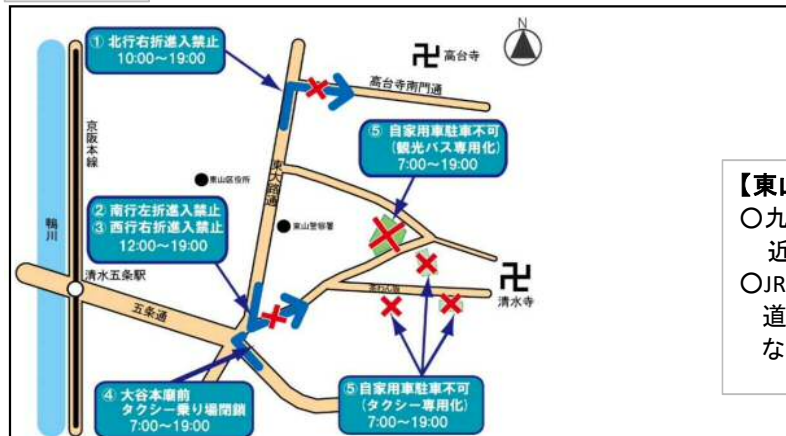
【嵐山】



【嵐山地区】

長辻通歩行者用道路規制の実施状況

【東山】



【東山地区(東福寺周辺)】

- 九条陸橋で停車する観光バスを近隣の民間駐車場へ誘導
- JR・京阪東福寺駅から東福寺につながる道路の車両通行禁止などの臨時交通規制など

**評価軸③-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項**

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
御園橋改修事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(道路事業)

計画に記載している内容 御園橋は上賀茂神社に隣接し、葵祭のルートにもなっている御園橋を拡幅する改修工事を実施する。【頁7-17】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成25年度、平成26年度に詳細設計を行うとともに景観検討会議を開催し、橋梁付属物のデザインを決定した。平成27年秋から、架け替え工事を進めており、令和元年度は新設橋梁の上部工の架設等を実施している。

【歴史的風致・基本方針との関係】葵祭や上賀茂神社と関係の深いこの橋を歴史に相応しいデザインに改修することで、歴史的風致の向上を図ることができる。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

事業位置図



■ R1整備箇所



御園橋着手前写真



御園橋現況写真

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
名勝円山公園再整備(修復)事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園等事業), 歴史活き活き! 史跡等総合活用整備事業(文化庁)

計画に記載している内容 市民と国内外からの来訪者がその魅力を持続的に享受できることを目指し, 名勝円山公園として, 適切に整備する。【頁7-20】

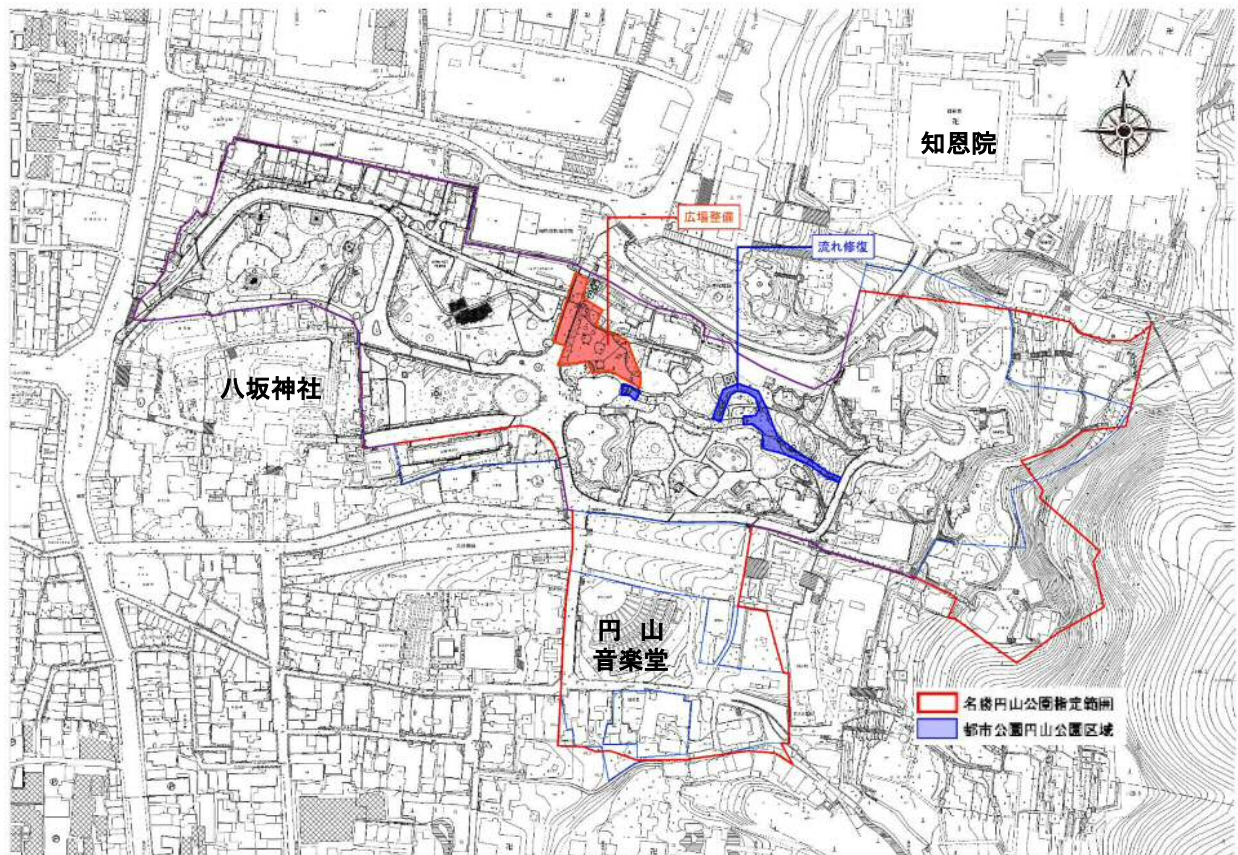
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

名勝円山公園の骨格を形成する「流れ」を修復し, 広場の整備に着手した。

【歴史的風致・基本方針との関係】歴史的風致を形成する重要な構成要素である名勝円山公園を整備することで, 歴史的空間の環境整備が進み, 歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	名勝に指定されている文化財であり, 学識者や有識者で構成される「名勝円山公園再整備検討会」の意見を聴取しながら, 再整備(修復)を進めていく必要がある。

状況を示す写真や資料等



R1 整備箇所

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
歴史的景観を保全・継承する京の道づくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 本市が管理する道路においても、「歴史的景観を保全・継承する京の道づくり」として、周辺景観に配慮した舗装等を行う。【頁7-21】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

御前通において、石畳風舗装を実施(L=206m)

【歴史的風致・基本方針との関係】御前通は、上七軒通の終端部や北野天満宮の東側に隣接しており、当該事業によって、道路修景が進むことで、もてなしの文化と茶屋が建ち並ぶ町並みを活かした風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

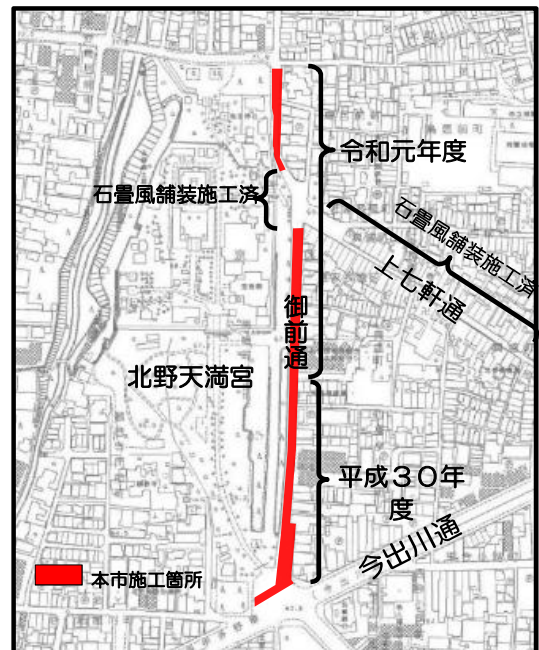
- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

御前通における石畳風舗装



R1 整備箇所



評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
雨庭整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～

支援事業名 グリーンインフラ活用型都市構築支援事業(令和2年度から新設)

計画に記載している内容 雨水を一時的に貯留しゆっくり地中に浸透させる構造を持った植栽空間「雨庭」を、京都の作庭技術を活かして市内に整備する。【頁7-22】

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

四条堀川交差点北西角において、雨庭整備を実施。(L=約140㎡)

【歴史的風致・基本方針との関係】京都の伝統文化のひとつである作庭技術や京都産の造園資材等を取り入れることで、身近な公共空間において、庭園文化を感じられる質の高い空間を創出し、歴史都市・京都にふさわしい風情や品格のあるまちづくりが推進される。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

雨庭整備状況



R1 整備箇所(四条堀川交差点北西角)